

# 館林キリスト教会会堂建築報告

館林キリスト教会  
主管牧師 伊藤英雄  
建築委員会

## ・会堂建築経過報告

館林キリスト教会の歴史は、1924年の天幕伝道会で始まりました。

最初の教会堂は1931年に建築されました。

終戦後の1946年に小林誠一師が館林キリスト教会牧師として着任、1950年には牧師館も完成いたしました。

1972年には念願の会堂を新築することが出来ました。それまで平屋だった教会堂は二階建てになりました。小さいながら駐車場も完備し、牧師室、副牧師室、会議室、印刷室等も設置され、とても機能的に集会、ご奉仕等ができるようになりました。

二階の礼拝堂では、ゆったりした椅子でとても快適な気分で礼拝のメッセージを聞くことが出来ました。

この頃から車で教会に来られる方が急増し、モータリゼーションの波は教会にも押し寄せ、駐車場を備えることは必須となりました。しかし当時、教会の財政力では4、5台分の駐車場を確保するのが精一杯でした。けれども幸いなことに、隣接地の駐車場を平日と日曜日を交換して使用出来るという貸し借りの交渉が成立して、会衆は聖日の日

曜日には、車を自由に置けるようになりました。

神様の恵みにより会衆は年々増加し、100名を超える人たちが毎週礼拝に集まるようになりました。1992年頃には、会堂は老朽化と共に手狭になり、クリスマス祝会などは他の会場を借りるほどでした。このような状況でしたので、誰の気持ちにも会堂を少し広くできないだろうかという願いが起こってきました。こうして大工さんの矢尾板健次氏や設計監理者の宇佐美勝康氏に相談を持ち掛け950万円の予算を見積もって増築を決定しました。増築後には、履物の着脱なしで出入りができるようになりました。またその時、個人用昇降機も設置しました。

この増築の時、館林市から今後の都市計画事業実施の際の協力を要請されました。

1995年、館林キリスト教会は、館林都市計画道路事業3・4・18号館林駅前通り線拡幅計画に伴い、教会移転を余儀なくされるような状況になりました。市より二回の説明が行なわれ、会堂の移転、新会堂の建築は、容易なことではないと実感いたしました。しかし小林牧師は、これを信仰によって前向きに受けとめ、1995年4月30日に開催された定期教会総会において会堂移転と会堂の新築についての説明を行ないました。そして建築委員会を発足させ、逐次祈り検討していくことになりました。

こうして、1996年から会堂新築献金をはじめ、移転すべき土地を捜す実際的な作業に移りました。会堂献金の献金袋には、会堂建設ビジョンの一つである「二倍の会堂、十分な駐車場」を記して教会員の皆さんに祈りと協力を求

めました。

移転候補地は、細内町、大島町、西美園町、楠町、成島町、堀工町、近藤町、栄町、赤生田町、田谷町、城町、南美園町、当郷町、高根町などが挙げられ、各々現地へ出向き検討をいたしました。このほかにも市外の板倉町、邑楽町なども範疇にありました。

なかなか適当な物件が見つからず、月日だけが過ぎていくようでした。

度重なる話し合いがなされ、会員各位の様々な立場からの要望を受け止めて、駐車場を含めての建設用地として1000坪は必要でした。しかし予算を考慮して、比較的価格の低い調整区域も視野にいれて、土地を探し求めました。

こうした働きを進めている中、小林牧師は1999年12月21日に急遽入院され、2001年1月24日召天されました。

小林牧師の志と教会員の願いを引き継いで伊藤英雄が主管牧師として招聘を受け、館林キリスト教会の新会堂建設の働きを教会員の方々と共に継続することになりました。

2000年9月の臨時教会総会で、候補地の一つであった館林市成島町にある土地約3,000坪の土地を購入することを決議しました。教会にとっては広すぎる土地でしたが、地主が分割売却を希望しないというごときで、思い切った購入の決断でした。

その時、建設ビジョンとして、

- 1．二倍くらいの会堂と十分な駐車場
- 2．新しい方が入りやすい会堂

3．地域に聞かれた会堂

4．親しみやすく高齢者や身障者にやさしい会堂

これらのことが会員の総意として掲げられました。

そして様々な手続きを経て、いよいよ来年には新会堂の建設にとりかかれると、開発の許可を待つばかりでしたが、残念なことに開発許可がおりず断念せざるをえませんでした。

そのような時、以前検討した高根町の土地が祈りのうちに示されました。土地をお世話くださった東洋信託不動産の島田雅雄氏は、地主の浅沼良一氏、木村幹夫氏、木村宗次郎氏に教会側の条件をよく伝えてくださり、交渉はスムーズにまとまっていきました。そして2001年11月4日(日)に、臨時教会総会を開催し、現在の所の土地を購入することを決議しました。

詳細を記すことはできませんが、この中で何回となく館林市の市長さんをはじめとして都市計画課の皆様、地元の皆様にはいろいろお骨折りをいただきました。

2002年2月17日(日)の定期教会総会において、「館林キリスト教会会堂新築基本設計」が提案され、設計監理者宇佐美勝康氏から説明を受け、基本設計が承認されました。そして2002年8月23日に河本工業株式会社取締役社長河本祭一氏と工事請負契約を締結し、9月8日(日)礼拝後、起工式を行ないました。

教会ホームページには、会堂建設の過程がよく判るようの一週間ごとに写真を掲載しました。

具体的に会堂の移築と新会堂の建設にとりかかって8年

の月日が過ぎました。

河本工業の現場監督の工藤浩正氏をはじめ工事関係者の方々にお骨折りをいただき、設計の細部にたるまで忠実に作業をしてくださったことに心から感謝いたします。これらのプロセスを経て私たちのが想像していた以上の素晴らしい教会堂の完成をみる事が出来ました。

新会堂建設にあたって設計、監理に携われた宇佐美勝康氏に、設計者として微に入り細にわたっての働きと一教会員として、惜しみない骨折に心からお礼を申し上げます。今まで私たちを支えてくださった皆様に心からこの紙面を借りてお礼を申し上げます。

神様がいつもこの教会堂に携わる方々を祝福し、助け、お守りくださったことを強く感じています。そして教会員の皆様が忍耐を持って祈り続け、ささげ続け、また多くの犠牲を払い続けてくださったことに改めて感謝を申し上げます。

続いて皆様の上に主の豊かな祝福がありますようにお祈りいたします。

### 主な経過等

- 1995.4 会堂移転と新築について説明。建築委員会を発足
- 1996.4 会堂移築臨時予算を決議
- 1999.2 会堂移転及び会堂新築借入金を決議
- 2000.9 成島町所在の土地購入を決議
- 2001.1 開発許可下りず成島町土地を断念
- 2001.2 会堂新築関係予算決議
- 2001.11 高根町所在の土地（現会堂地）請人を決議
- 2002.2 会堂新築基本設計を承認
- 2002.5 会堂新築実施設計を報告
- 2002.8 河本工業(株)と建築工事請負契約締結
- 2003.3 建築工事完成引渡し
- 2003.3 完成記念感謝礼拝
- 2003.4 献堂式

信徒懇談会、信徒への説明・報告 19回

建築委員会 82回